

◇ ポートフォリオ戦略（日経平均先物基準）

前営業日の基本戦略では、

「米雇用統計の悪化という市場予想外のファンダメンタル材料によって反転急落し、サイクルボトムからの長期上昇トレンドの転換は先送りされている。ポートフォリオ買い戦略は、移動平均システムのゴールデンクロスなど明確な買いバイアス出現からのトレンドフォロー戦略であったため、現段階ではポジションスクエアである。今週前半は、下値模索から急落局面まで想定されるが、週末前後に 9200-9300 円水準にあれば、逆張り戦略でもポートフォリオ買いのタイミング。」とした。

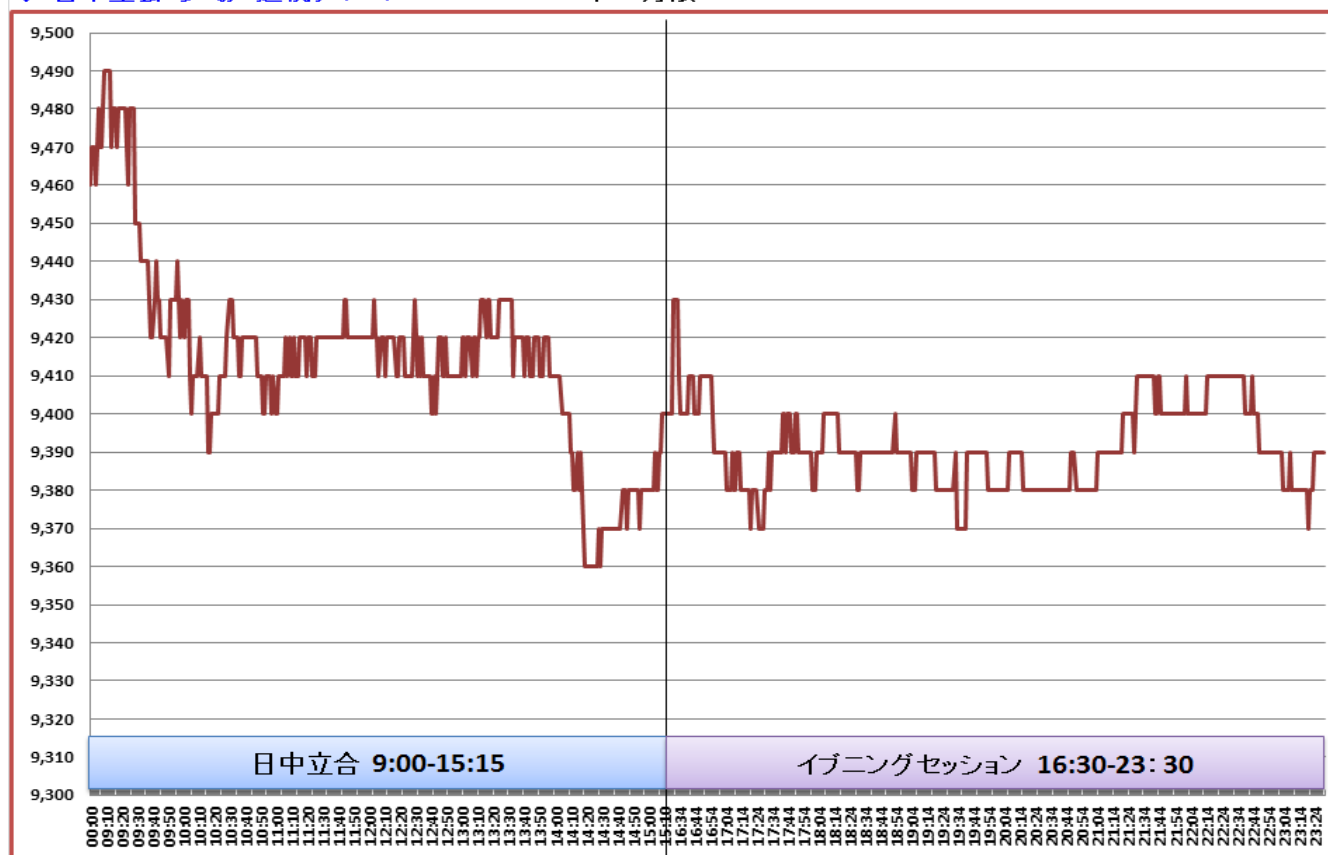
引き続き、東京市場への影響確認とNYダウのその後の反応を見るべきであろう。ポートフォリオ買いは 6/8 まで様子見である。長期サイクルボトムが 5 月末前後にかけて到来するパターンを想定してきたが、現段階では 1 週間程先送りされていると見る。下落してもサイクルボトムとなるため、2-3 ヶ月タームでの長期買いタイミングとなるシナリオには変更はない。

6/6 安値 9359.78 円基準では 6.6%に達し、下落日数でも 22 日となり、いっそうボトム形成の可能性が高くなってきた。サイクルボトムの最大値を 9000 円とし、6/14 までに達した場合には急反発するシナリオを想定する。時間と価格のバランスを見ながら、今後は買いのタイミングが重要となる。（計算値はギャンサイクルのページを参照）具体的戦略は、時間チャネルと複合して利用する。

◇ 日中立会・夕場 連続チャート

2011年06月限

6月6日



<1>

「アリゲーター」は、投資顧問業務適用外の情報誌です。一部単位でも販売致します。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。また、予告なしに内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

本誌記事の無断転載・複写を禁じます。 お問い合わせは、マックスバリュ 047-300-5561 まで

Alligator アリゲーター

2011/06/07



ギャン6ヶ月サイクル①		サイクル起点			営業日ベース					高値からボトムまでの	
		サイクル日数	安値日	安値	高値日	高値	上昇日数	上昇値幅	上昇率	日数	下落率
2009/03~	第一ギャンMC	34	09/03/10	7021.28	09/04/10	9068.80	22	2047.52	29.2%	12	6.3%
	第二ギャンMC	50	09/04/28	8493.77	09/06/12	10170.82	29	1677.05	19.7%	21	11.0%
	第三ギャンMC	28	09/07/13	9050.33	09/08/14	10630.38	23	1580.05	17.5%	5	4.6%
	第四ギャンMC	29	09/08/21	10142.22	09/08/31	10767.00	6	624.78	6.2%	23	10.6%
	第五ギャンMC	35	09/10/06	9628.67	09/10/26	10397.69	13	769.02	8.0%	22	12.7%
8ヶ月 日数合計		176	09/11/27	9076.41							
ギャン6ヶ月サイクル②		サイクル起点			営業日ベース					高値からボトムまでの	
		サイクル日数	安値日	安値	高値日	高値	上昇日数	上昇値幅	上昇率	日数	下落率
2009/12~	第一ギャンMC	48	09/11/27	9076.41	10/01/15	10982.10	31	1905.69	21.0%	17	10.2%
	第二ギャンMC	80	10/02/09	9867.39	10/04/05	11408.17	37	1540.78	15.6%	43	17.8%
	第三ギャンMC	59	10/06/09	9378.23	10/06/21	10251.90	8	873.67	9.3%	51	14.2%
8ヶ月 日数合計		187	10/09/01	8796.45							
ギャン6ヶ月サイクル③		サイクル起点			営業日ベース					高値からボトムまでの	
		サイクル日数	安値日	安値	高値日	高値	上昇日数	上昇値幅	上昇率	日数	下落率
2010/09~	第一ギャンMC	41	10/09/01	8796.45	10/09/21	9704.25	13	907.80	10.3%	28	6.0%
	第二ギャンMC	58	10/11/02	9123.62	11/01/13	10620.57	46	1496.95	16.4%	12	4.1%
	第三ギャンMC	30	11/01/31	10182.57	11/02/17	10891.60	12	709.03	7.0%	18	24.5%
日数合計		129	11/03/15	8227.63							
ギャン6ヶ月サイクル④		サイクル起点			営業日ベース					高値からボトムまでの	
		サイクル日数	安値日	安値	高値日	高値	上昇日数	上昇値幅	上昇率	日数	下落率
2011/03~	第一ギャンMC	54	11/03/15	8227.63	11/05/02	10017.47	32	1789.84	21.8%	22	6.6%
	6/6現在		11/06/06	9359.78							

<2>

「アリゲーター」は、投資顧問業務適用外の情報誌です。一部単位でも販売致します。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。また、予告なしに内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

本誌記事の無断転載・複写を禁じます。 お問い合わせは、マックスバリュ 047-300-5561 まで

Alligator アリゲーター

2011/06/07

6/1 時点の上昇値幅 314 円（上昇率 3.3%）は「2.5-3.0%の上昇基準」に達しており、第二ギャンMCの上昇過程にあると判断するためには、数日間この水準を維持しなければならなかった。しかし、高値維持は 1 日で終わり、その後二日間は一安値圏で推移し、第一ギャンMCが延長している可能性が高くなっていた。

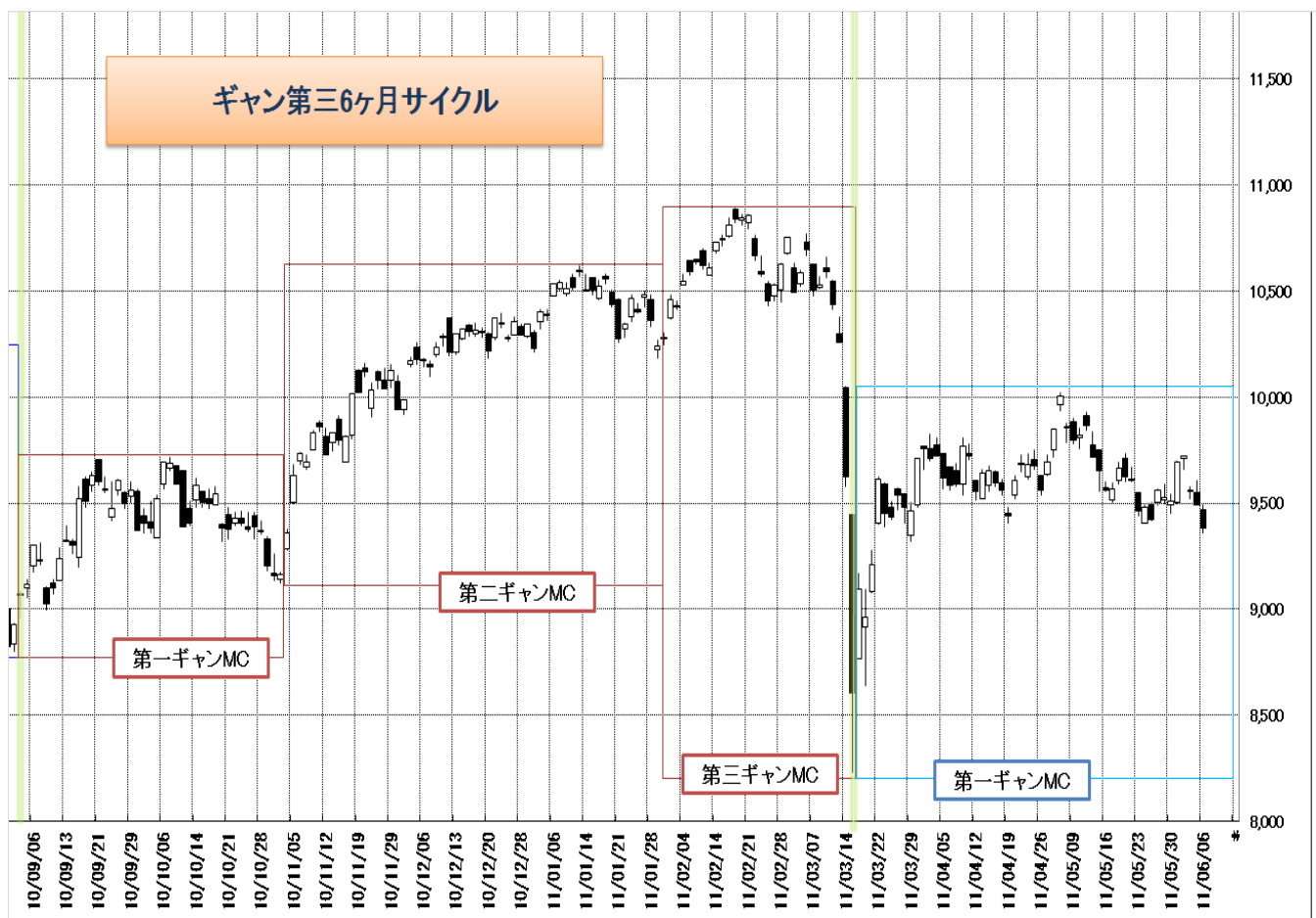
6/6 に 5/24 安値を抜けたことで、第四 6 ヶ月サイクルの第一波動（3/15 起点）が継続していることになり、現在は**第一ギャンMCの 55 日目**である。

長期サイクルボトムが 5 月末前後にかけて到来するパターンを想定してきたが、現段階では 1 週間程先送りされていると見る。下落してもサイクルボトムとなるため、2-3 ヶ月タームでの長期買いタイミングとなるシナリオには変更はない。

5/24 安値 9406.04 円基準で、5/2 高値 10017.47 円からの下落率 6.1%でも十分ボトム条件となるが、6/6 安値 9359.78 円基準では 6.6%に達し、下落日数でも 22 日となり、いっそうボトム形成の可能性が高くなってきた。

直近の 3 つの 6 ヶ月サイクルでは、初期波動（第一ギャンMC）における高値からボトム（第二ギャンMCの起）までの下落日数は 12-28 日、今回 28 日目となるのは 6/14 である。また、同様の基準における下落率は 6.0-10.2%、今回 10.2%下落のターゲットは 9000 円である。

したがって、サイクルボトムの最大値を 9000 円とし、6/14 までに達した場合には急反発するシナリオを想定する。時間と価格のバランスを見ながら、今後は買いのタイミングが重要となる。



<3>

「アリゲーター」は、投資顧問業務適用外の情報誌です。一部単位でも販売致します。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。また、予告なしに内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

本誌記事の無断転載・複写を禁じます。 お問い合わせは、マックスバリュ 047-300-5561 まで

◇ 本日の主な予定

日付	日本時間	イベント	予測値	前回
6/7	13:30	豪金利発表	4.75%	4.75%
6/7		(日)5月携帯電話各社契約件数		
6/7	14:00	(日)4月景気動向指数	0.2	-3.3
6/7		米独首脳会談		
6/7		世界最大のゲーム見本市「E3」開催(～9日)		
6/7		米3年国債入札		
6/7		(米)4月消費者信用残高(8日 4:00)	50億ドル	60億ドル

◇ 本日の個別株材料

HV：ヒストリボラティリティ（％）。当日を除く、価格の過去 20 日間の変動率を表示。

RSI：前営業日までの 14 日間 R S I を表示（％）。

25DAT：前営業日までの 売買代金 25 日移動平均値。

イハラケミカル(4989)、11 年 10 月期第2四半期連結業績の上方修正を発表

終値:255 円 HV:21.69 5DMA:251 円 RSI:70.6 25DAT:0.1 億円

6日、11 年 10 月期第2四半期連結業績の上方修正を発表した。売上高は 129 億 3600 万円(前回予想比 1.9%増)、営業利益は 20 億 1800 万円(同 30.2%増)、経常利益は 22 億 2200 万円(同 30.7%増)、四半期純利益は 13 億 6700 万円(同 39.5%増)に上方修正した。上期においては、主力製品である輸出向け除草剤の堅調な推移と、研究開発費の進捗が遅れていることにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回の予想を上回る見込み。なお、通期の業績予想については、下半期の内外環境の動向が未だ不透明なことから、現時点では業績予想の修正は行っていない。今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに開示する。

オムロン(6645)、12 年3月期通期連結業績予想、6.0%増収・14.5%営業増益

終値:2039 円 HV:20.86 5DMA:2061 円 RSI:27.3 25DAT:17.34 億円

6日、12 年3月期通期連結業績予想を発表した。売上高は 6550 億円(前期比 6.0%増)、営業利益は 550 億円(同 14.5%増)、税引前当期純利益は 535 億円(同 28.3%増)、当社株主に帰属する当期純利益は 340 億円(同 27.0%増)の見通し。業績予想の前提となる東日本大震災の影響については、電力供給不足、部品メーカーの復旧遅れなどのリスクは今後も残るが、以下の状況により一定の見極めが可能となったので、今回、業績予想を公表した。(1)震災による同社グループの工場及び生産設備への直接の被害はないこと、(2)現時点で生産用部品は、同社グループ内及び部品調達先の在庫にて確保できており、同社グループの国内外の工場は、ほぼ通常の操業を行っていること、(3)供給が不透明であった部品調達先の復旧が進んでいること、(4)不透明であった一部の顧客の需要が明確になったこと。同社グループの関連市場については、一部の業界において上半期に東日本大震災の影響による需要減少が想定されるが、海外における堅調な設備投資需要や国内における復興需要などにより総じて好調な売上の推移を見込んでいる。

ビットアイル(3811)、11 年7月期第3四半期連結業績、21.8%増収・56.9%営業増益

終値:133000 円 HV:40.56 5DMA:132640 円 RSI:74.8 25DAT:0.92 億円

6日、11 年7月期第3四半期連結業績を発表した。09 年2月に開設した文京データセンターが四半期ベース

<4>

「アリゲーター」は、投資顧問業務適用外の情報誌です。一部単位でも販売致します。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。また、予告なしに内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

本誌記事の無断転載・複写を禁じます。 お問い合わせは、マックスバリュ 047-300-5561 まで

で黒字化を達成し、その後着実に黒字幅が増加する等、iDCサービス、マネージドサービス、ソリューションサービスがいずれも順調に推移した結果、売上高は 86 億 8600 万円(前年同期比 21.8%増加)、営業利益は 14 億 9800 万円(同 56.9%増加)、経常利益は 12 億 8200 万円(同 75.8%増加)となり、四半期純利益は 7 億 1000 万円(同 72.7%増加)だった。なお、11 年 7 月期の連結業績予想の見直しは、行っていない。

物語コーポレーション(3097)、東証一部指定承認と新株式発行及び株式売出しを発表

終値:1490 円 HV:26.82 5DMA:1500 円 RSI:80.2 25DAT:0.15 億円

6日、11 年 6 月 27 日をもって、同社株式が東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されると発表した。同日併せて、新株式発行及び株式売出しを発表した。公募による新株式発行(一般募集)は 65 万株。発行価格等決定日は、11 年 6 月 14 日(火)から 11 年 6 月 17 日(金)までの間のいずれかの日。株式の売出しは 9 万株。オーバーアロットメントによる売出しは上限 11 万 1000 株。今回の一般募集による差引手取概算額 8 億 3950 万円については、全額を 12 年 5 月までに新規出店のための設備投資資金に充当する予定。

スタートウ(3092)、5月の商品取扱高、前年同期比 54.6%増

終値:1662 円 HV:42.6 5DMA:1659 円 RSI:69 25DAT:17.75 億円

6日、5 月度の月次商品取扱高、会員数の状況を発表した。5 月は、商品取扱高が 53 億 1800 万円(前年同期比 54.6%増)、会員数 328 万 4698 人(前月比 7 万 7016 人増)、アクティブ会員数が 132 万 6926 人(前月比 6 万 4975 人増)となった。

NDソフトウェア(3794)、12 年 3 月期通期連結業績の上方修正を発表

終値:1051 円 HV:35.9 5DMA:1030 円 RSI:42.3 25DAT:0.03 億円

6日、12 年 3 月期通期連結業績の上方修正を発表した。売上高は 81 億 2300 万円(前回予想比 46.4%増)、営業利益は 10 億 1500 万円(同 14.6%増)、経常利益は 10 億 1900 万円(同 12.0%増)、当期純利益は 6 億 3400 万円(同 21.0%増)に上方修正した。12 年 3 月期通期連結業績予想について、11 年 5 月 13 日に公表した、「平成 23 年 3 月期決算短信」の次期連結会計年度の見通しに記載したとおり、11 年 4 月 27 日公表の「NCSホールディングス株式取得(子会社化)」により NCSHD 及び NCSHD の子会社である日本コンピュータシステム株式会社を含めた連結業績予想を検討した結果、11 年 5 月 13 日に公表した業績予想を修正。なお、NCSHD の業績予想に関しては、同社、会計監査人と「連結財務諸表に関する会計基準」及び「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」にそって、協議検討を行った結果、当期の連結対象期間は第 2 四半期からの 9 ヶ月間となったため、NCSHD の業績予想については、当該期間を連結対象としている。

萩原工業(7856)、11 年 10 月期第 2 四半期連結累計期間業績、5.2%営業増益

終値:1210 円 HV:36.49 5DMA:1194 円 RSI:72 25DAT:0.1 億円

6日、11 年 10 月期第 2 四半期連結累計期間業績を発表した。第 2 四半期連結累計期間業績は、売上高 101 億 9700 万円(前年同期比 9.5%増)、営業利益 9 億 9500 万円(同 5.2%増)、経常利益 10 億 4900 万円(同 5.8%増)、四半期純利益 6 億 2500 万円(同 3.4%増)となった。合成樹脂加工製品事業は、原油・ナフサ価格の急激な上昇、東日本大震災の影響等外部環境の変化が激しいなか、継続的な新製品の市場投入に加え、売上高の確保に努めるとともに、売上原価率低減に注力し収益確保に努めた。海外子会社においては、在インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」は、価格競争の激化及び原料価格の高騰を受け厳しい事業環境で推移した。機械製品事業においては、引き続き光学系フィルム及びリチウムイオンセパレーター(車載リチウムイオン電池用)の需要拡大を背景に、生産能力増強とサポート体制の強化に注力するとともに、受注機の大型化と短納期化に対応すべく取り組んだ。これらにより、主力製品であるスリッター及びワインダー関連機器含め順調に推移した。

<5>

「アリゲーター」は、投資顧問業務適用外の情報誌です。一部単位でも販売致します。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。また、予告なしに内容を変更する場合がありますのでご確認ください。

本誌記事の無断転載・複写を禁じます。 お問い合わせは、マックスバリュ 047-300-5561 まで

ピジョン(7956)、12年1月期第1四半期連結業績、3.7%営業減益

終値:2843 円 HV:17.57 5DMA:2804 円 RSI:62.7 25DAT:3.18 億円

6日、12年1月期第1四半期連結業績は、売上高 130 億 4500 万円(前年同期比 2.8%増)、営業利益6億 8500 万円(同 3.7%増)、経常利益7億 3400 万円(同 0.8%減)、四半期純利益3億 3700 万円(同 27.4%減)となった。東日本大震災の影響による一部国内生産拠点の稼働低下等もあり、売上原価率は前年同四半期を上回ったが、増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益は前年同四半期比 3.7%増となった。一方、経常利益は、営業外収益の減少により前年同四半期比 0.8%減となり、四半期純利益については、特別損失として東日本大震災で被災した設備の修繕費用、毀損商品の廃棄費用等を中心に 9500 万円を計上したことにより、前年同四半期比 27.4%減となった。

一建設(3268)、12年1月期第1四半期業績、1.4%減収・19.5%営業減益

終値:2026 円 HV:31.69 5DMA:2056 円 RSI:59 25DAT:1.18 億円

6日、12年1月期第1四半期業績を発表した。売上高は 426 億 3300 万円(前年同期比 1.4%減)、営業利益は 51 億 8300 万円(同 19.5%減)、経常利益は 50 億 7500 万円(同 20.0%減)、四半期純利益は 29 億 7600 万円(同 14.8%減)だった。なお、11年3月16日に発表した「東北地方太平洋沖地震の影響に関するお知らせ(第二報)及び被災地支援に関するお知らせ」のとおり、今回の震災が同社に及ぼす影響については、現時点では限定的と思われることから、12年1月期の業績予想(11年3月8日発表)は変更していない。

トミタ電機(6898)、12年1月期第1四半期連結業績、2.5%減収・営業損失縮小

終値:99 円 HV:55.71 5DMA:100 円 RSI:29 25DAT:0.01 億円

6日、12年1月期第1四半期連結業績を発表した。売上高は3億 6100 万円(前年同期比 2.5%減)、営業損失は 4200 万円(前年同期は 6900 万円の損失)、経常利益は 1000 万円(前年同期比 294.6%増)、四半期純利益は 700 万円(前年同期は 5700 万円の損失)だった。コイル・トランス販売は国内市場向けが回復し、若干だが増加。フェライトコア販売は、国内市場ではほぼ前年並みの水準で推移したが、海外でも前年並みの販売状況ではあったものの、昨年と比べると 10 円の円高となった為に日本円換算後の金額では大きく目減りし、売上高全体としては前年を下回る結果となった。損益面では、中国における人件費・経費の増加が影響した。通期連結業績予想については、11年3月24日に公表した当初の業績予想に変更はない。

巴工業(6309)、11年10月期第2四半期連結業績、12.8%増収・2.3%営業増益

終値:1778 円 HV:35.1 5DMA:1773 円 RSI:62.3 25DAT:0.46 億円

6日、11年10月期第2四半期連結業績を発表した。連結売上高は、機械製造販売事業に係わる北米の油井掘削向け遠心機械並びに国内官需向け工事売上の伸びと、化学工業製品販売事業に係わる住宅・建設及び自動車関連を始めとする幅広い商材の販売増進を背景に、前年同期実績を 12.8%上回る 220 億 8000 万円。震災の関係では、機械製造販売事業で一部の部品調達他に若干の制約が生じたものの、これの製品供給への波及は限定的であり、寧ろ、化学工業製品販売事業での国内取扱商材全般に亘る先取り需要の発生が、当該期間末迄の連結売上高を幾分積み上げる結果となった。利益の面では、化学工業製品販売事業の増収効果に加えて同事業の輸入商材全体に纏わる円高の効果が持続する一方で、機械製造販売事業においては前年同期に特に収益性が高い国内修理案件を手掛けたことの反動があつて、結果、グループの連結営業利益は前年同期比 2.3%増の 16 億 8500 万円。これに通貨スワップ取引に関するデリバティブ評価益の増加などが合わさり、同経常利益は前年同期を 2.4%上回る 17 億 9600 万円となったが、同四半期純利益は、前年に1億 5900 万円の投資有価証券売却益があつたことや、当期間での資産除去債務に係わる特別損失処理(3200 万円)などを受けて、前年同期を 7.0%下回る 10 億 5900 万円に止まった。なお、10年12月10日に公表した11年10月期に係わる通期の業績予想を変更していない。

<6>

「アリゲーター」は、投資顧問業務適用外の情報誌です。一部単位でも販売致します。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。また、予告なしに内容を変更する場合がありますのでご確認ください。

本誌記事の無断転載・複写を禁じます。 お問い合わせは、マックスバリュ 047-300-5561 まで

船井総合研究所(9757)、11 年 12 月期通期連結業績の下方修正を発表

終値:513 円 HV:14.24 5DMA:517 円 RSI:56.8 25DAT:0.05 億円

6日、11 年 12 月期通期連結業績の下方修正を発表した。売上高は 81 億円(前回予想比 8.0%減)、営業利益は 17 億 4000 万円(同 5.9%減)、経常利益は 17 億 4000 万円(同 5.9%減)、当期純利益は8億 1000 万円(同 14.7%減)に下方修正した。子会社の連結除外による売上高の減少、特別損失の計上及び東日本大震災の影響による売上高減少に伴い、連結・個別ともに業績予想を修正。なお、11 年 12 月期の配当金については、11 年1月 31 日公表の配当予想額(中間配当金 10 円、期末配当金 13 円)に変更はない。

ベクター(2656)、株式の立会外分売実施を発表

終値:71000 円 HV:21.45 5DMA:72000 円 RSI:23.1 25DAT:0.05 億円

6日、株式の立会外分売実施を発表した。分売予定株式数 6900 株、分売実施日は 11 年6月7日(火)、分売値段は 69600 円、買付申込数量の限度は買付顧客1人につき 50 株(売買単位:1株)、実施取引所は大阪証券取引所、実施の目的は同社株式の流動性向上を図るため。

キヤノン(7751)、自己株式取得が終了したと発表

終値:3845 円 HV:23.9 5DMA:3884 円 RSI:61.5 25DAT:220.92 億円

6日、11 年5月 25 日の取締役会決議に基づく自己株式取得が終了したと発表した。取得した株式の総数は、1294 万 7900 株。取得した株式の取得価額の総額は、499 億 9995 万 1000 円。取得期間は、11 年5月 26 日～11 年6月3日。取得方法は、東京証券取引所における市場買付け。

マルハニチロHD(1334)、12 年3月期通期連結業績予想、19%営業減益

終値:117 円 HV:41.81 5DMA:118 円 RSI:54.2 25DAT:2.34 億円

6日、12 年3月期通期連結業績予想を発表した。12 年3月期通期連結業績は、売上高 8250 億円(前期比 0.2%増)、営業利益 140 億円(同 19.6%減)、経常利益 115 億円(同 23.8%減)、当期純利益 40 億円(同 10.9%増)の見通し。前回公表においては、11 年3月 11 日に発生した東日本大震災の影響により、業績予想を未定としていたが、被災設備の復旧状況、国内需要の動向、原材料価格の動向などを踏まえ、今般新たに業績予想値を算出した。

情報提供・レポート執筆者



藤井英敏

＜個別株分析・スクリーニング＞

株式投資で成功するためにさまざまな情報を提供する情報会社「カブ知恵」代表取締役。1989年 早稲田大学政治経済学部経済学科を卒業後、日興証券（現SMBC日興証券）、フィスコなどを経て現職。説得力のある相場解説で個人投資家に人気。著書に『おいしい株の見つけ方』（ダイヤモンド社）がある。



山本雅俊

＜ポートフォリオ戦略・日経平均サイクル分析＞

機関投資家、プロの個人投資家向けにノウハウを提供する「MAX VALUE」代表取締役。1986年 新潟大学経済学部卒業後、太平洋証券（現三菱UFJモルガン・スタンレー証券）、ダイワフューチャーズ（現ひまわり証券）を経て独立。JGB・短期金融マーケット・システム売買・オプション・株式・商品相場など多岐にわたる業務に携わった経験をもとに、独自に開発したトレード手法を商品化している。225BRAIN、MAX金融レポートを監修。

「アリゲーター」は、個別株及び日経平均先物のバイアス/トレンド等を金融市場すべての情報を基に分析し、短期から中期の価格バイアス検証と売買テクニックを解説しています。当レポートは、情報提供を目的としてのみ作成したものであり、有価証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。掲載されている内容は、当社が信頼できると判断した資料およびデータ等に基づき作成しておりますが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、将来の投資成果や市場環境を保証するものではありません。投資決定にあたっては、投資家ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

購読料金（税込み）

1部 3,000円 1ヶ月 10,500円 半年 60,000円 年間 100,000円

1ヶ月以上の購読者には無料で、DAILY版アリゲーター（週初以外）をOPEN前にPDF送信致します。

詳細・購読申込みはこちら <http://www.max-value.co.jp/>

＜8＞

「アリゲーター」は、投資顧問業務適用外の情報誌です。一部単位でも販売致します。投資の最終判断は御自身の責任で行なうようお願い申し上げます。また、予告なしに内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

本誌記事の無断転載・複写を禁じます。 お問い合わせは、マックスバリュ 047-300-5561 まで